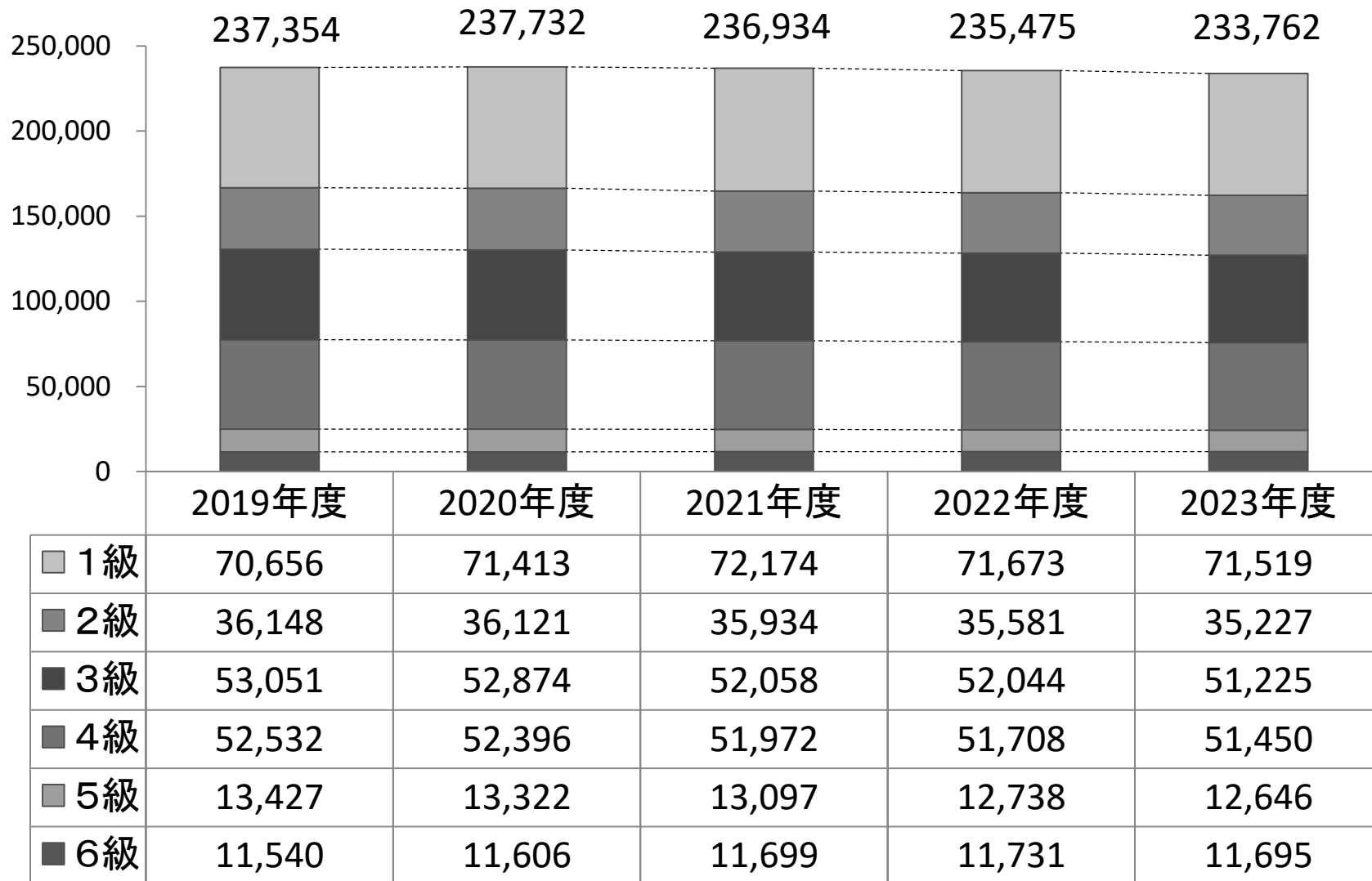


障害者の福祉施策について

2024年5月23日（木）
愛知県福祉局福祉部障害福祉課

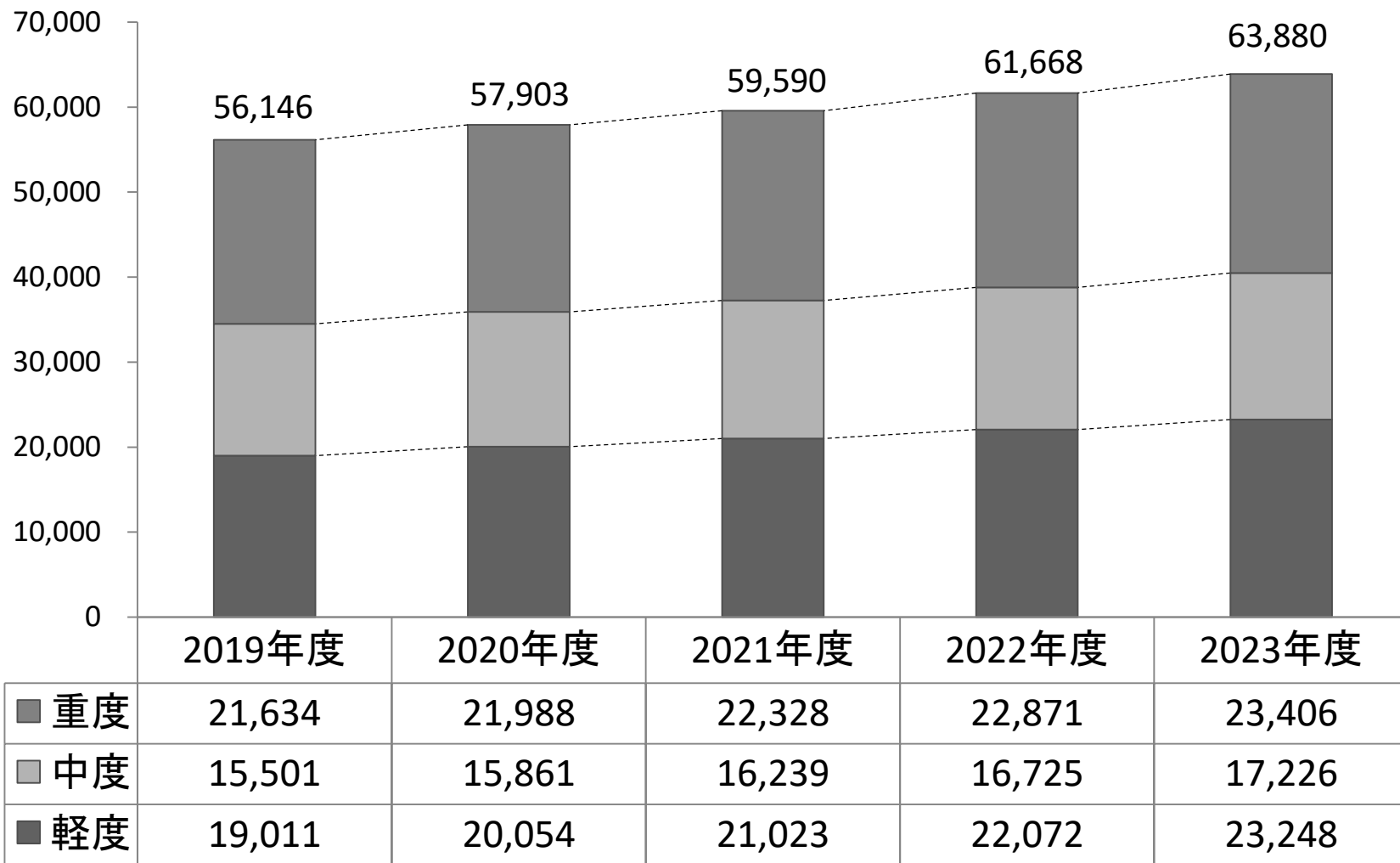
愛知県の状況(1)

～ 身体障害者手帳所持者数の推移 ～



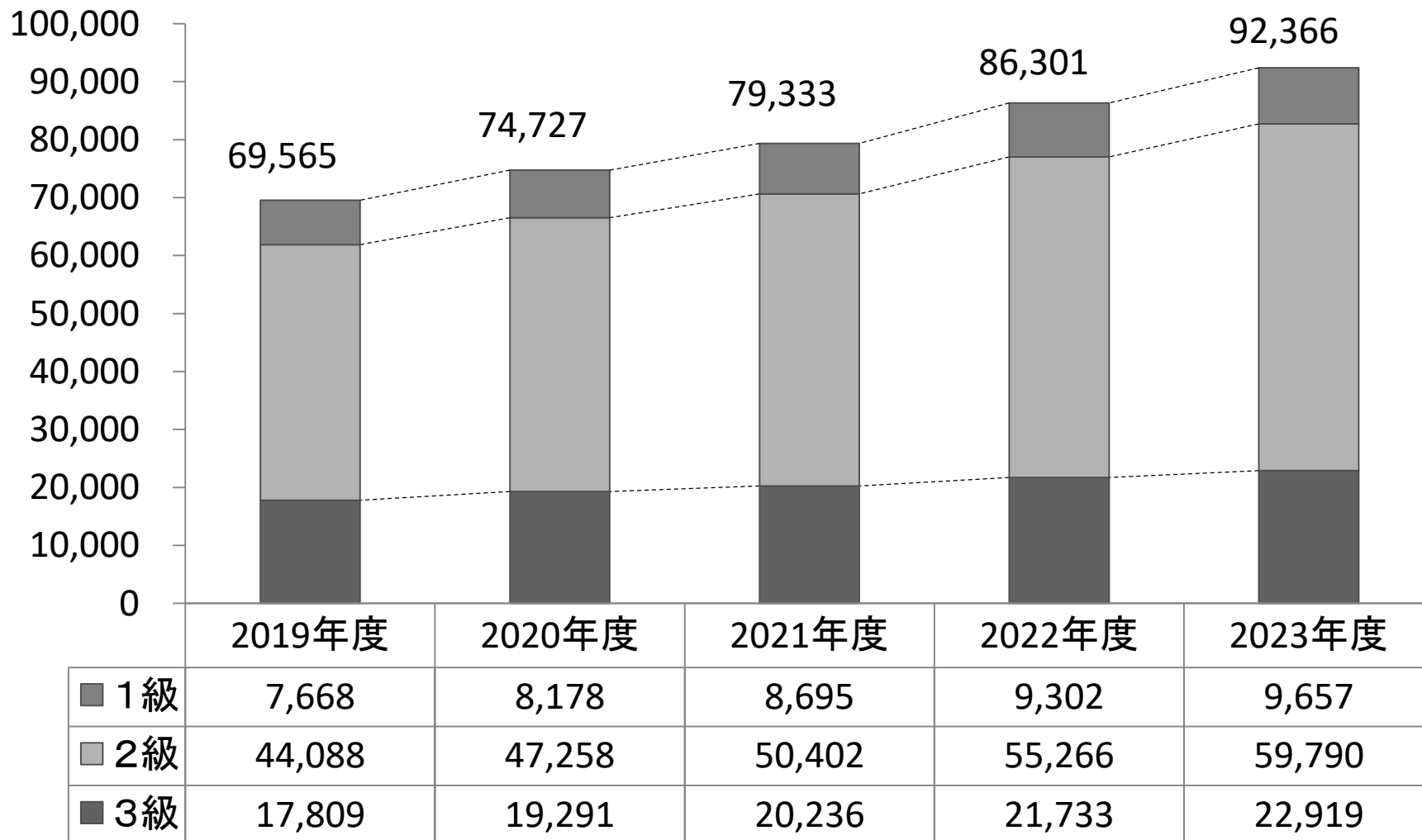
愛知県の状況(2)

～ 療育(愛護)手帳所持者数の推移 ～



愛知県の状況(3)

～ 精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移 ～



障害者優先調達推進法

「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律」

障害者就労施設等が供給する物品や役務に対する需要の増進等を図り、就労する障害者等の自立を促進する。(2013年4月施行)

(取組内容)

国、地方公共団体等は、物品等の調達にあたり、優先的に障害者就労施設等から調達するよう努める。

国：基本方針の策定

都道府県、市町村：毎年度、調達方針を作成するとともに、調達実績を公表する

※本県の2024年度調達目標：過去調達実績最高額(2021年度実績)を上回る

(対象となる障害者就労施設等)

- ・ 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業所・施設
- ・ 障害者を多数雇用している企業
- ・ 在宅就業障害者等

(発注例)

物品 大会等の記念品、弁当、ユニフォーム など
 役務 印刷、清掃、クリーニング、除草作業、
 各種データ入力 など

2022年度調達実績 ()内は2021年度

	件数(件)	契約額(千円)
愛知県	205(264)	16,588(19,670)
市町村	2,882(2,939)	1,026,455 (1,043,107)

(愛知県の共同受注窓口)

一般社団法人 愛知県セルフセンター

一般社団法人 愛知県障害者就労共同受注販売センター

音声コードの普及

○ 音声コードとは

活字文書を高密度二次元コードに変換したもの
18mm角のコード内に日本語約800文字を記録することが可能
専用読上装置やスマートフォンアプリにより音声に変換する

音声コード



読上装置



○ 本県では、視覚障害者のための情報提供手段の普及に係る基本方針を設け、各種情報提供手段の導入による合理的配慮の提供を進めている

(基本方針)

視覚障害者が生活していく上で必要となる情報を下記①～③とし、例示された印刷物等に音声コード等の導入等、視覚障害者へ合理的配慮の提供に取り組むものとする

- ① 視覚障害者を対象とした施策・制度に関する情報
- ② 県政の全般的な施策・制度、利用施設等に関する情報
- ③ 視覚障害者を含め、県民に対して広く周知する情報

(印刷物の例示)

ガイドブック、パンフレット・リーフレット、冊子、通知文書

○ 2017年度以降の県導入目安

毎年各部局が、1つ以上の音声コード導入を図る

(導入済みの部局は前年度実績を上回るよう努める)

2022年度導入状況：16局47件

ヘルプマークの普及啓発

○ ヘルプマークとは

- ・ 義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分かりにくい方々が、配慮を必要としていることを周囲に知らせるマーク
- ・ 東京都が2012年10月に作成
- ・ 2019年7月にJIS追加及び内閣府HP追加掲載



○ 全国の導入状況

全47都道府県で導入済み(2021年10月31日現在)

○ 本県の取組

- ・ 2018年7月20日より県内一斉に配布を開始
- ・ 効果的な普及を図るため、障害のある方と身近に接する市町村と連携して取り組む
- ・ 「ヘルプマーク普及パートナーシップ制度」

市町村：ヘルプマークの作成、窓口での配布

県：ヘルプマークの作成、配布(一部) + 全県的なヘルプマークの普及啓発